

↓こちらの方に裏返してください。



協力：株式会社ガハハ

たかつきし  
高槻市のあるところに、ひろし君くんという

ごさい げんき おとこ こ  
5歳の元気な男の子がいました。

そとあそ だいす  
お外遊びが大好きなひろしくんは、

ほいくえん すなば たの あそ  
保育園の砂場で楽しく遊んでいました。

すな なか  
すると砂の中に、

ひか  
きらきら光るものがあるのに気づきました。

ひか なに ひか ちか  
ひろしくんは光る何かに近づいていきました。

↓こちらの方に裏返してください。

↓こちらの方に裏返してください。

ひろし君が手にとってみると、

きらきら光る石でした。

ひろし君は、光る石が汚れていたので、

みずあらいで洗うことにしました。

ところが、うっかり手が滑ってしまい、

ひかいしはいすいこうなかお  
光る石を排水口の中に落としてしまいました。

ひろし君は、大慌て！

そこへ、お友達のまりこちゃんがやってきました。

いっしょに光る石を探る方法を考えましたが、

よいアイデアが思い浮かびません。

2人が困っていると、

どこからか声が聞こえてきました。

「ふおふおふお、わしはマンホール博士じゃ」

とつぜん、立派なおひげの博士があらわれました。

「お2人さん、お困りのようじゃがどうしたのかな？」

↓こちらの方に裏返してください。

ひろし君は、博士に光る石のことを話しました。

「ふむふむ。その光る石は、排水口を通過して、

その先の下水道の中を通過しているはずじゃ。

よしっ、今から下水道の中へ連れて行ってやろう。」

博士がそう言うと、どこからともなくUFOのような

の物が出てきました。

次の瞬間、3人は乗り物の中に吸い込まれていきました。

↓こちらの方に裏返してください。

「ここが下水道の中じゃ。」

みんなのお家のトイレやお風呂から

汚れた水が流れているんじゃ。」

「博士、あれは何？」ひろし君は外を見ながら尋ねました。

「あれは、植物の根っこじゃよ。」

下水道を流れる水は、みんなにとっては汚れた水でも、

植物にとっては栄養たっぷりの水なんじゃ。

だからこんな風に下水道の外から植物の根っこが

の伸びてくることもあるんじゃよ。」

↓こちらの方に裏返してください。

さん<sup>にん</sup>を乗<sup>せ</sup>た乗<sup>り</sup>物<sup>の</sup>は、どん<sup>ど</sup>ん進<sup>ん</sup>でい<sup>き</sup>ま<sup>す</sup>。

はかせ<sup>の</sup>乗<sup>り</sup>物<sup>の</sup>はこ<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>行<sup>く</sup>と、

ど<sup>こ</sup>に<sup>つ</sup>着<sup>く</sup>の<sup>?</sup>」

ひろ<sup>し</sup>君<sup>は</sup>博<sup>か</sup>士<sup>せ</sup>に<sup>た</sup>ず<sup>ね</sup>て<sup>み</sup>ま<sup>し</sup>た。

「こ<sup>の</sup>先<sup>さ</sup>には、下<sup>げ</sup>水<sup>すい</sup>処<sup>ど</sup>理<sup>り</sup>場<sup>じょう</sup>とい<sup>う</sup>と<sup>こ</sup>ろ<sup>が</sup>あ<sup>る</sup>ん<sup>じ</sup>や。

げ<sup>す</sup>い<sup>ど</sup>う<sup>と</sup>お<sup>み</sup>ず<sup>な</sup>、  
下<sup>げ</sup>水<sup>すい</sup>道<sup>どう</sup>を<sup>と</sup>う<sup>つ</sup>た<sup>み</sup>ん<sup>な</sup>、

そ<sup>こ</sup>に<sup>た</sup>ど<sup>り</sup>着<sup>く</sup>ん<sup>じ</sup>や<sup>ぞ</sup>。」

ふ<sup>た</sup>り<sup>き</sup>よ<sup>う</sup>み<sup>し</sup>ん<sup>し</sup>ん<sup>は</sup>興<sup>き</sup>味<sup>み</sup>津<sup>つ</sup>々<sup>ず</sup>で<sup>す</sup>。

↓こちらの方に裏返してください。

げす いしよじょう  
「下水処理場というのは、

げすいどう なが よご みず  
下水道を流れてきた汚れた水をきれいにして、

かわ うみ かせ ぼしよ  
川や海に返している場所なんじゃ。

みず いっしょ なが しず  
水と一緒に流れてきたごみを沈めたり、

びせいぶつ よ ちい い もの  
微生物と呼ばれる小さな生き物に

よご た  
汚れを食べてもらったりしておるぞ。

くん さが ひか いし  
ひろし君が探している光る石は

あた  
この辺りにあるはずなんじゃが、、、」

↓こちらの方に裏返してください。

「あっ、あそこに何か光っているわ。」

まりこちゃんが指さす方向を見て、

ひろし君が大きな声で言いました。

「博士！僕が探していたのはあの石だよ！」

「おお、あれか。よし、それじゃあ、ちよっと待っておれ。」

そう言っていると博士は、乗り物を動かして、

光る石に近づいていきました。

博士がボタンを押すと乗り物から光が出て、

無事光る石を回収することができました。

「やった～！！」2人は大喜びです。

↓こちらの方に裏返してください。

3人はそのまま、下水処理場を探検することにしました。

「うわあ！！博士、何か口をパクパクしてるよ！！」

あれはなあに??？」

ひろし君は博士に聞きました。

「あれが、さっき説明した微生物じゃ。

あの微生物たちが汚れを食べてくれるおかげで、

下水処理場に流れてきた水がきれいになるんじやよ。」

↓こちらの方に裏返してください。

↓こちらの方に裏返してください。

「そうだ！光る石を見に行かなきゃ！」

3人が光る石を見に行くと

光る石は突然強い光を放ちはじめました。

「ま、まがしい～！！」

3人は思わず目をつぶり、

そのまま光に包み込まれていきました。

さんになんめあひかいしい  
3人が目を開けると、光る石から

からふるまんほーるうつだ  
カラフルなマンホールが映し出されています。

たかつき  
「おお、これは高槻にあるデザインマンホールじゃな！

ひだり せつきよう え むかし ひと あしあと た え  
左から、摂津峡の絵、昔の人の足跡や田んぼの絵、

たかつき むかし  
高槻に昔あったお城の絵の3種類じゃ。

ほか  
他にもいろいろなデザインマンホールが

にほんじゆう  
日本中にあるから、お出かけしたときに

さが  
探してみるのも楽しいもんじゃないぞ。」

↓こちらの方に裏返してください。

さん<sup>にん</sup>のの<sup>の</sup>もの<sup>の</sup>ほいくえん<sup>の</sup>かえ<sup>き</sup>  
3人を乗せた乗り物は保育園に帰って来ました。

ひか<sup>いし</sup>さん<sup>にん</sup>き<sup>き</sup>  
光る石は、3人が気づかないうちに、

どこかに消えていました。

げすい<sup>どう</sup>  
「これからも下水道についていろいろなることを

べんき<sup>よう</sup>はかせ<sup>め</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>  
お勉強して、わしめたいな博士を直指しておくれよ。」

はかせ<sup>はかせ</sup>  
「はい！！博士ありがとう！！ばいばーい！！」

ふたり<sup>だいぼう</sup>けん<sup>けん</sup>  
これで2人の大冒険はおしまいです。

まん<sup>ほ</sup>ー<sup>る</sup>はかせ<sup>はかせ</sup>  
マンホール博士は、これからもどこかの

ほいくえん<sup>ほいくえん</sup>  
保育園にあらわれるかもしれませんね。

↓こちらの方に裏返してください。